

平成27年度 PAT-LIST研究会 中間発表会

特許情報の戦略的活用で、

連続的にヒット商品を発掘！



RAYTEC

ご案内 & お申込要領



日時：平成**27**年**10**月**15**日(木)

発表会 13:00~16:30

会場：**豊島区勤労福祉会館6F (大会議室)**

〒171-0021

東京都豊島区西池袋2-37-4

東京メトロ池袋駅(西口) 徒歩10分

JR池袋駅(西口) 徒歩10分

JR池袋駅(メトロポリタン口) 徒歩7分

主催：**株式会社レイテック**

各グループの研究テーマ発表

国内特許

●Aグループ <特許分析業務を始める方、社内で教育したい方にお勧め>

発表テーマ:「PAT-LISTで情報を見える化するための勘どころ」 ～使えるテクニックのポイントと過去の成果発表の活用～

特許情報を見える化するにあたって生じる、情報解析現場の「声」と「気づき」に着目し、「いまさら聞けないQ&A」のような困った時の打開策や解決への糸口等を提供する。

<メンバー>

富士電機株式会社 栗林 均 様 (リーダー)	株式会社 武蔵野化学研究所 駒沢友香 様
株式会社IHI 清水 淳 様	株式会社レイテック 佐々木 眞悟
キリン株式会社 平尾 啓 様 (アドバイザー)	

●Bグループ <特許情報分析を戦略策定などに活用したい方にお勧め>

発表テーマ:「特許情報から炭酸飲料市場の変化を解き明かす」 ～なぜ今炭酸飲料か?～

爆発的ヒット商品の誕生やトクホ商品の市場投入など、炭酸飲料が注目を集めている。本活動では、特許情報や一般情報から、炭酸飲料市場におけるメーカー戦略の変化や消費者の変化を解き明かす。

<メンバー>

日本バルカー工業株式会社 中川 智洋 様 (リーダー)	三菱ガス化学株式会社 渡辺 智美 様
ライオン株式会社 猪俣 和也 様	日清フーズ株式会社 高橋 匡 様
神鋼リサーチ株式会社 中田 守 様	新日鉄住金化学株式会社 中西 朋宏 様 (サブアドバイザー)
帝人株式会社 佐藤 貢司 様 (アドバイザー)	

●Cグループ <PAT-LIST GLSを使ってグローバルな解析をしたい方にお勧め>

発表テーマ:「The strategy and competitors of the Procter and Gamble who has revolutionized the fragrance & smell market」 ～Future fate of deodorant technology～

●昨年度のBチームの日本特許解析の結果を補完して、P&G社のUS特許を分析する●コア技術のUS特許を4観点より分析してP&G社の知財戦略と事業戦略を探る●4観点分析とは、Boolean検索・テキストマイニング応用検索・俯瞰可視化分析・引用被引用NWA。

<メンバー>

帝人株式会社 佐藤 貢司 様	新日鉄住金化学株式会社 中西 朋宏 様
日清フーズ株式会社 高橋 匡 様	はやぶさ国際特許事務所 桐山 勉 様 (リーダー)

中間発表会のプログラム

於：豊島区勤労福祉会館

時刻	内容	演者
12:30	開場(受付)	
13:00	第1部 講演	
13:00	開演のご挨拶	株式会社レイテック 代表取締役 出口 隆信
13:10	講演:「業務での活用を想定した特許情報解析の実践ポイント～分析観点の絞り込みと短時間情報解析～」	ダイキン工業株式会社 小林 淳 様
13:55	休憩(5分)	
14:00	第2部 中間発表会	
14:00	Bグループ 「特許情報から炭酸飲料市場の変化を解き明かす」 ～なぜ今炭酸飲料か?～」	三菱ガス化学株式会社 渡辺 智美 様
14:40	Cグループ 「The strategy and competitors of the Procter and Gamble who has revolutionized the fragrance & smell market」 ～Future fate of deodorant technology～」	はやぶさ国際特許事務所 桐山 勉 様
15:05	休憩(10分)	
15:15	Aグループ 「PAT-LISTで情報を見える化するための勘どころ」 ～使えるテクニックのポイントと過去の成果発表の活用～」	株式会社武蔵野化学研究所 駒沢 友香 様
15:30	総合Q&A	
16:10	成果発表会に向けてのアドバイス	PAT-LIST研究会・塾長 工学博士 桐山 勉 様
17:00	第3部 懇親会	
17:00	懇親会(120分)	

講演:「業務での活用を想定した特許情報解析の実践ポイント」

【要旨】

特許マップで情報を見える化する際に、特許分類だけでは、なかなか情報の中身がみえてこない。そこで、目的に応じた情報解析を行うために、特許を読み込み付加情報を加味した、いわゆるSDB（戦略的データベース）の構築が行われる。しかし、汎用的に使えるSDB構築にはとても時間を要し、言語統制作業等のスキルも必要である。本講演では用途を限定する事で分析時間の短縮を狙った「ワンタイムSDB」を提案し、題材を電気シェーバー、電動アシスト自転車とし、用途を戦略検討に限定した実施例を通して、その実践ポイントを考察する。

ダイキン工業株式会社 小林 淳 様

【プロフィール】

ダイキン工業に入社後、約15年間電子回路設計業務に従事。その後、電子技術研究所を経た後、現在ソリューション商品開発センターに所属。営業技術支援、技術企画などを経験した後、2012年より特許関連業務（出願強化）を担当。技術企画グループ グループリーダー。

特許情報分析を技術開発戦略へ展開するという課題意識の下、2014年より、名古屋にて特許情報活用研究会に参加。